



HOTEL ALFONSO XIII, A LUXURY COLLECTION

ホテルアルフォンソ 13 世、アラグジュアリーコレクション



ホテルアルフォンソ 13 世「Hotel Alfonso XIII」の全景。ホテルはスペイン全土でも最上位に序する歴史と格式を誇る名門ホテルである。建築家ホセ・エスピア・イ・ムニョスのデザインにより 1916 年に建設が始まり、29 年開催のイベロ・アメリカン博覧会（セビリア万博）に合わせて正式にオープンした



情熱的な生花が飾られた中央ロビーホール。館内は中央部に美しいパティオを配置し、セビリアの伝統的な装飾とアラビックなムーア様式が調和されたデザイン構成だ



ホテル正面ファサードは、ムーア様式の技法を取り入れたネオ・ムデジャール様式で建てられた独自のスタイルが目立つ



地元アンダルシア様式の制服を着こなしたホテルスタッフ



エントランス&レセプションホール。現在、ホテルはスターウッドのラグジュアリーコレクションの傘下であり、「Hotel Alfonso XIII, A Luxury Collection」が正式名称である



ホテル館内の中央部に配置されたアンダルシア様式の美しいパティオ



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974 年 Munich Re 入社。
2001 年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoterresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で見聞き、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Hotel Alfonso XIII, A Luxury Collection

ホテルアルフォンソ 13 世「Hotel Alfonso XIII」はセビリア市で屈指の、否、スペイン全土でも最上位に序する歴史と格式を誇る名門ホテルである。建築家ホセ・エスピア・イ・ムニョスのデザインにより 1916 年に建設が始まり、29 年開催のイベロ・アメリカン博覧会（セビリア万博）に合わせて正式にオープンした。開業時には国王アルフォンソ 13 世と女王ビクトリア・ウージニーが列席して盛大な宴会になったという。それゆえ、ホテル名は国王アルフォンソ 13 世の名跡を冠し、ホテル正面ファサードはムーア様式の技法を取り入れた

ネオ・ムデジャール様式で建てられた独自のスタイルが目立つ。現在、ホテルはスターウッドのラグジュアリーコレクションの傘下であり、「Hotel Alfonso XIII, A Luxury Collection」が正式名称で、建物はセビリア市の所有となっている。

アンダルシア州の州都セビリアは、オペラ「セビリアの理髪師」や「カルメン」の舞台として知られるスペイン有数の観光都市だ。かつてこの地を支配したイスラム文化と、レコンキスタによって勢力を取り戻したキリスト教文化が融合した特異な街並が印象的である。街の中心に位置するカテドラル「大聖堂」は、バチカンのサンピエトロ寺院などに次ぐヨーロッパで 3 番目に巨大な規模



HOTEL ALFONSO XIII, A LUXURY COLLECTION

ホテルアルフォンソ 13 世、アラグジュアリーコレクション



結婚披露パーティー用にセッティングされたパンケットサロン「Royal Salon」



アールデコスタイルのメインバー「Bar Americano」は大人の雰囲気だ



メインダイニング「San Fernando Restaurant」はパティオに面した明るい雰囲気、地元アンダルシア料理が楽しめる



ホテル館内の中央部のパティオを囲むように配置されたエレガントなラウンジ



ダイニングバー「Ena by Carles Abellan」はアラビアンムードたっぷりのミステリアスな空間だ



「Ena by Carles Abellan」はシェフの Carles Abellan がプロデュースする人気のダイニングバーである

を誇り、内部にはコロンブスの墓が安置されている。

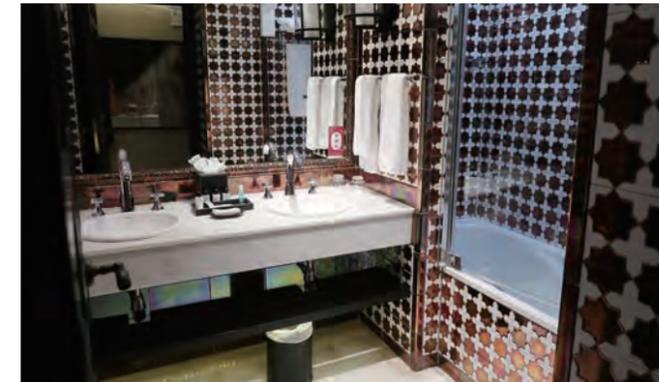
ホテルアルフォンソはスイート 22 室を含む全 148 室を擁し、セビリアの中心部に独自のクラシカルな姿で佇んでいる。館内は中央部に美しいパティオを配置し、セビリアの伝統的な装飾とアラビックなムーア様式が調和されたデザイン構成だ。今回は約 45㎡の広さを持つ「Grand Deluxe Room」を紹介したい。アンダルシアの空気を感じさせる重厚感あふれる部屋で、バルコニーからガーデンプールを望める。メインダイニング「San Fernando Restaurant」はパティオに面した明るい雰囲気、地元アンダルシア料理が楽しめる。隣接してアールデコスタイルのバー「Bar

Americano」は大人の雰囲気だ。「Ena by Carles Abellan」はシェフの Carles Abellan がプロデュースするダイニングバーで、店内の装飾は一見の価値がある。

ホテルアルフォンソのすぐ隣に広大な敷地のセビリア大学がある。オペラ「カルメン」の主人公であるカルメンは王立タバコ工場で働いていたが、そのタバコ工場が現在のセビリア大学である。大学の外壁には「FABRICA REAL DE TABACO」と書かれたタイル板が掲げられている。ホテルアルフォンソは国王アルフォンソ 13 世の遺産と歴史を彩るセビリアのランドマークホテルといえよう。



約 45㎡の広さを持つ「Grand Deluxe Room」のベッドルーム。タペストリーやシャンデリアもアンダルシアの空気を感じさせる重厚感あふれる部屋だ



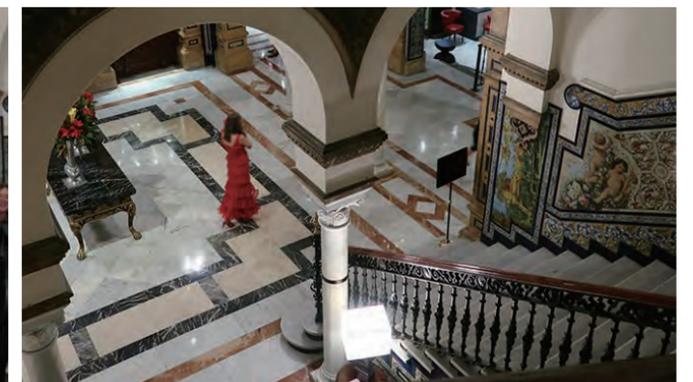
バスルームの壁面全体に貼られたタイルの文様が斬新で印象に残る



部屋のバルコニーから望むガーデンプール



セビリアを代表する名門ホテルゆえに、地元名士たちのパーティーも盛んである



宴の後、ひとり中央ホールを横切る深紅のドレス姿の女性。カルメンの残照と重なる印象的な光景だ